証拠から診断する

トラブルシューティング：接続、位置、動作

観察した状態を使って次の確認項目を選び、オフラインプロジェクトの位置ずれを修正します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェア練習と復習

機械なしを選択したまま、プロジェクト演習中は**未接続**の状態を維持します。提示されている操作値はソフトウェア上の例であり、テスト済みの材料レシピではありません。原本を保持し、自分の作業は別に保存します。

接続	位置	動作
列挙してから開く	基準とモード	証拠を優先

アートワークやファームウェアを変更する前に、証拠から次の確認項目を選びます。

1. 正確なメッセージと機械またはコントローラーの識別情報を記録します。オペレーティングシステムレベルでUSBが検出されても、使用可能なシリアルポートやアカウントアクセスが確立されたことにはなりません。

2. ポートが見つからない場合は、特定されたデバイス、対応するドライバー、ケーブル、アクセス権を確認してから更新します。無作為にドライバーを入れたり、関係のない非表示ポートを使ったりしないでください。

3. 既知のポートが表示されても開けない場合は、列挙の問題とは分けて、使用中またはアクセスに関するエラーを調べます。ジョブの出力電力ではポート検出は直りません。

4. 障害物またはリセットの後は、安全に停止し、再起動を判断する前に原因を解決します。再接続して座標値を確認しても、物理的な基準は再確立されません。

5. 機械で設定されているホーミング手順、またはスイッチを使わない起動手順を使用します。プロファイル、開始位置、新たに設定したユーザー原点、ジョブ原点、残りの作業を確認します。

6. 結果の歪みについては、デザイン寸法と、繰り返し測定した証拠を切り分けます。文書化されたキャリブレーションを検討する前に、停止または隔離した状態での手順を使って機構を確認します。

オフライン配置タスク

オフライン配置タスク

placement-start.lzrprojを開きます。20 x 12 mmの複合タグには3 mmの穴があり、左下X 60/Y 60から開始します。目標は形状を変更せずにX 20/Y 60とすることです。

1. 開始位置: 絶対座標ではジョブ原点が無視されます。

2. デザインでタグ全体を選択します。プロパティで左下の基準点を選び、X 60を20に変更します。Y 60とすべての寸法は変更しません。

3. 未接続のプレビューでは、一時的に線の操作を含め、タグ全体と穴を確認してから、操作の出力をオフに戻します。

4. 自分用のコピーを保存し、**placement-answer.lzrproj**と比較します。タグ全体が左に40 mm移動します。

なぜこの絶対座標の配置はジョブ原点で修正できないのでしょうか。

実際に実行する前に、どの物理的な配置確認が残っていますか。

三つの診断ケース

三つの診断ケース

OSはUSBデバイスを識別しているが、シリアルポートが一覧に表示されず、メーカーのドライバーのチェックが外れている場合、次に何をしますか。

コントローラーが、未解決の障害物の後に再接続されます。ファイルはユーザー原点を使用し、数値を表示しています。再起動する前に何を解決する必要がありますか。

デザイン上の円は30/50 mmで、指定されたXは33/55、Yは変わりません。別の波打つ線は繰り返すたびに変化します。これらの観察結果は、どのようなパターンと次の確認を示していますか。

接続
特定されたポートを試す前に、ドライバー、デバイス、アクセスに関する正確な証拠を確認します。

リセット
原因を解決し、文書化された基準を再確立して、残りの作業、原点、配置を確認します。自動的な「再開」だと推測しないでください。

倍率のケース
33/30と55/50はいずれも1.10で、Xが10%増加しています。これは調査すべき証拠であり、ファームウェアの単一の障害の証明ではありません。変化する波打つ線には、独自の機構または設定の調査が必要です。

ファイルと比較

ファイルと比較

ジョブが正しい位置から開始されない
フォルダー job-starts-in-wrong-place。**placement-answer.lzrproj**、**placement-start.lzrproj**。この章の入力ファイルと比較ファイルを一緒に保管します。

位置を失った
フォルダー lost-position。**restart-preview.lzrproj**。この章の入力ファイルと比較ファイルを一緒に保管します。

試した後に比較ファイルを使用します。指定された寸法、設定、オブジェクト構造を確認します。